

石川県七尾美術館だより

平成22年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第63号(秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2010イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展

「女王さまと宇宙飛行士とそれはすてきなソーセージ」
クラウディア・ポルト(ドイツ)



展覧会紹介

平成22年10月2日(土)～

12月26日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2010イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月6日(土)～12月5日(日)

「会期中無休」

◆第一・第二・第三展示室

「ボローニャ・ブックフェア」は毎年春にイタリア北部の古都ボローニャ市で開催されている世界で唯一の児童書専門見本市です。1964年に始まったこのブックフェアでは、作家と編集者が出会い、毎年新しい絵本作家が生まれています。また、版権の売買などが行われ、ここから世界へ旅立つ絵本もたくさんあります。そして1967年にはイラストレーターに作品発表の機会を設けるため「子どもの本のための原画コンクール」が始まりました。

今年で44回目を迎えるこのコンクールは、世界最大規模を誇る子どもの本のための原画コンクールとして知られています。5枚1組のイラストを審査するもので、16歳以上の誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門としても注目されています。

世界中から集まった応募作品は、職業も国籍も



「アフリカの絵のかりうど」
ティアナ・マルガレタ・チェブレアヌ
(ルーマニア)



「ふしぎな文字の箱」
フィリップ・ジオルダーノ
(イタリア)

かですが、子どもの本のためのイラストと言つても、子どもに合わせたイラストではなく、より多くの人に伝わる作品であることが大切です。
優れたイラストには観る人自身で考えることのできる余地があります。独自の解釈

異なるメンバーで構成される国際審査団によって審査されます。審査員は毎年代わるため、審査基準も微妙に異なり、このこともボローニャ展の多様性の要因の一つとなっています。今年の審査員は、ペレン・G・フレイヘイロ(OQO出版、スペイン)、広松由希子(絵本評論家・作家、日本)、ウラジミール・ラドウンスキー(アーティスト、ロシア/アメリカ)、マーティン・ソールズベリー(アングリシア・ラスキン大学、イギリス)、ガイア・ストツク(EL出版、エйнаウディ・ラガツィ出版、エメ出版、イタリア)の5人でした。彼らは作品の新しさやオリジナリティ、物語を語る力、作品世界の表現に適した技法であるかなどを検討し、世界58カ国、2454人の応募作品から日本人13名を含む、20カ国、87人の作品を選び出しました。

本展覧会は、このコンクールの入選作品を紹介するものです。日本では1978年に初めて紹介され、当館では1998年以降毎年開催し、今年で13回目を迎えます。

毎年、これまで観たことのない新しい作品を紹介してきました。イラストの制作においては伝統的な技法や表現のみならず、新たな表現を求めて、CGに代表されるような新しい技法が取り入れられてきました。もともと、児童書のイラストとして大切なのはそれが子どもの心に届くものかどうかですが、子どもの本のためのイラストと言つても、子どもに合わせたイラストではなく、より多くの人に伝わる作品であることが大切です。

で想像を膨らませ、物語をより楽しむことができます。展示室ではイラストとの出会いによる、新たな発見や感動が待っています。



「ほくのすてきなカカシくん」
アフラー・ノウバハール (イラン)



「髪の毛がなくなってしまったステラ」
シャーロット・パーティ (デンマーク)

《特別展示》

今年の特別展示作家は2009年ブラテイスラヴァ世界絵本原画展(BIB)でグランプリに輝いたスペインの絵本作家、タシエスです。

1963年スペインのアラゴン州バルバストロに生まれ、現在はカタロニア州ブルニョラ在住。バルセロナ大学でジャーナリズムを学び、1983年より、新聞や雑誌でイラストレーションや風刺漫画などを発表しています。

ジャーナリストでもある彼の作品は決して夢の世界だけの物語ではなく、批判的でもあり、社会と密接に結びついています。一見すると木版画のようでもある作品は黒く塗られ、単純化され刻み込まれたような色彩と独特の力強いスタイルを確立しました。国際的にも高く評価され、「正しい訓戒の本」(Libre de bons amonestaments)や1966年ブラテイスラヴァ世界絵本原画



「盗まれた名前たち」
タシエス (スペイン)

展金牌賞、「迷子になった男の子」(El niño perdido)が2008年SM基金国際賞を受賞しています。

《映像コーナー》

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員やタシエス、入選作家へのインタビューを交えて紹介します。今年の審査基準や作家の目指すものなど、生の声をお届けします。

《絵本コーナー》

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本にお薦め絵本を加え、約100冊を展示します。ご自由にご覧ください。

●●●●ボローニャ展関連イベント●●●●

❁**かんたん絵本を作ろうよ!**❁【要観覧料】
いらなくなったポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

子どもコース

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00~16:00
対象 4歳~小学生未就学児は保護者同伴
定員 各日10名(要申込、先着順)
持ち物 不要なポスターなど
協力 「絵本の会 もこもこのみなさん」
会場 展示室内

自由参加コース

日時 11/23(火・祝)、14:00~16:00
対象 どなたでも
持ち物 不要なポスターなど
申込不要 直接会場へお越しください
会場 展示室内

❁絵本アニメ上映会❁【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

会場 2階アートホール

上映予定	11:00~11:35	13:00~13:35
11/6(土)	かもさんおとまり	くまのコールテンくん
11/13(土)	じてんしゃのめいどまねごま	まほうつかいのノナばあさん
11/20(土)	ごきげんなライオン	どろんこハリー
11/23(火)	ベッドまわりはおはげがほしい	かいじゅうたちのいるところ
11/27(土)	すてきな三にんぐみ	ごきげんなライオン
12/4(土)	どろんこハリー	スイミー

❁おはなし劇場❁【要観覧料】

絵本の読み聞かせや、大型紙芝居、パネルシアターや人形劇を上演し、皆さんを物語の世界へご招待します

開催日 11/21(日)

時間 10:30~11:30、13:00~14:00
協力 NPO法人 ぽっかぽか
申込不要 直接会場へお越しください
会場 1階休憩コーナー

❁ナイトミュージアム❁【要観覧料】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」「のびのびと絵本を読んであげたい」と思っているらっしゃるご家族のための時間です。

日時 11/27(土)、18:00~20:00
対象 高校生以下の子どもを含む家族
定員 10家族(要申込、先着順)

※展示室が若干賑やかになる可能性があります。

※申込受付は10/23(土)9:00より電話にて

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	300円	300円
	700円	600円	

※中学生以下無料、団体は20名以上です。

★わくわく…♪楽しいボローニャ展グッズ★

図録やポストカードをはじめ、クリアファイル、一筆箋(6種類)などを販売いたします。人気のクリアファイルはA4サイズ4種類、A5サイズ4種類あつてどれもステキ♪

白いバッグに布用クレヨンで描けば、世界でたったひとつのマイバッグができる「お絵かきエコバッグ」。好評につき、今年も販売いたします。

また、今年の入選作家の絵本や輸入絵本に加え、作って遊べる楽しい絵本も販売いたしますのでお楽しみに!

人気商品は展覧会期終了前に売り切れてしまうこともありますのでお早めにごぞ。



クリアファイル&一筆箋

遊べる絵本



「あーんたちもみちこ」
作・絵 あーんたちもみちこ
発行: コクヨS&T

★期間限定メニュー&プレゼント★

ティールームでは、ボローニャ展にあわせて、新メニュー「はちみつトースト」が登場!はちみつつやがしい甘さとアイスクリーム、トーストがベストマッチ。温かいお飲み物と一緒にいかが? また毎年大人

気、本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターのプレゼント。セットメニューご注文の方にもれなくさし

上げます。



今年のコースター
「梅干しの絵本」小山友子(日本)より

「秋の所蔵品展」

10月2日(土)～24日(日)

今年開館15周年を迎えました当館には、現在約550点の作品が所蔵されています。

本展では当館所蔵品より、次の2テーマで様々なジャンルの作品を紹介します。

◇第一展示室

「神・仏・仙人たち」

「神さま」や「仏さま」はいつの時代でも常に人々の心のより所であり、太古より現在に至るまで様々な形で信仰を集めてきました。また、世俗と離れて超越した能力を持つとされる仙人達も、人々の尊敬の対象となりました。

それだけに神や仏、そして仙人を表現した絵画や彫刻は、様々な作家によつてどの時代でも数多く制作されており、その姿はある時は懊悩を救済する慈愛に満ちた表情、またある時は邪気を追い払う憤怒の形相であるなど実に様々です。能登七尾出身で桃山時代に大活躍した画家・長谷川等伯(二五三九～一六一〇)も、若年時は絵仏師として腕を振るい、多くの優れた仏画を残しています。

本テーマでは「池田コレクション」などより、神仏や仙人を表した絵画や彫刻など20点を展示します。



「張果老図」 下村観山



「勢多迦童子図」 佐藤朝山

◇第二展示室

「赤い作品いろいろ」

「赤」は色彩の基本である三原色の一つです。漢字発祥の地である中国ではこの色を「紅」と表しますが、それを輸入した日本においては「赤」と表し、これには「大いに燃える火」という意味が込められているといえます。

赤色といえば炎や血、太陽、革命などを想像するように、動的、情熱的なイメージを持ち、またアピール度の強い色であることから、交通標識など認識の必要性が大きいものなどにもよく用いられています。

無論、赤色は美術工芸にも欠かせない主要な色としてよく使用され、あらゆるジャンルの作品に登場しています。

本テーマでは、赤色を多用した作品や、赤色がポイントになっている作品など27点を、絵画や工芸を中心に展示します。



「寺田屋」 山本 隆



「織部草花文向附」

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	280円
	280円	220円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

長谷川等伯関連展示情報①

●「善女龍王図」

展示期間 10月2日(土)～24日(日)

密教と関りが深く、龍を従えて雨を降らせる存在である善女龍王を描いた作品です。まるで少女のような表情をした善女龍王が、岩の上に乗って水中より現れた場面です。小さな仏画ですが、繊細な筆致と鮮やかな彩色がよく分かり、等伯の若年期の特徴が見事に表れた作品といえるでしょう。

本作品は「秋の所蔵品展」テーマ「神・仏・仙人たち」内で展示します。

●「複製 松林図屏風」

展示期間 10月31日(日)～11月3日(水・祝)

日本水墨画の最高峰で、等伯の代表作として有名な「松林図屏風」。能登の松林を描いたともいわれる水墨の幽玄な風景は、今なお多くの人びとを魅了し続けています。

本年、七尾市では「等伯没後四〇〇年記念」として「松林図屏風」の複製を製作しました。製作には最新のデジタル技術が駆使され、複製とはいえオリジナルの雰囲気をよく伝えています。

本品を「平成22年度七尾市美術展覧会」期間中の4日間、特別公開します。



「善女龍王図」

「冬の所蔵品展」

12月10日(金)～平成23年2月13日(日)

当館では開館以来、石川県ゆかりの作家を中心に、作品のご寄附、ご寄託をいただけてきました。その内容は、古美術の指定文化財から、現在活躍する若手作家作品まで様々です。

本展ではその中から、2つのテーマで絵画や彫刻作品を中心に紹介します。

◇第一展示室

江戸時代の長谷川派と

加賀藩ゆかりの絵師を中心に

長谷川等伯に続く江戸時代の長谷川派や、江戸時代中期に活躍した加賀藩の武人画家・矢田四如軒、加賀藩のお抱え絵師として活躍した狩野派の画家、佐々木泉景などの作品12点を展示します。

【主な作品紹介】

【武者図屏風】 長谷川派 江戸前期 個人蔵

各扇に「長谷川」印と「等伯」印を持つ6曲1双屏風ですが、その印章は等伯が使用したものではなく、筆致も明らかに違います。しかし、この作品が注目されるのは、右隻の2扇目に等伯の長男・久蔵筆「朝比奈草摺曳図絵馬」(京都市・清水寺)、左隻の4扇目に等伯筆の「弁慶・昌俊図絵馬」(京都市・北野天満宮)、3扇目に長谷川甚丞筆の「牛若丸・僧正坊図絵馬」(京都市・清水寺)を、それぞれ模写した場面が見られる



(左隻)

ことです。特に等伯と久蔵の絵馬を写した場面は迫力があり、鏝などは緻密な描写で描かれています。

久蔵の絵馬が天正20年(一五九二)、長谷川甚丞の絵馬が寛永15年(一六三八)制作ですから、寛永15年以降の制作ということになります。

◇第二展示室

イマジネーションを楽しむ

作家たちは常にイマジネーションを働かせ、強くイメージしたものを現実の世界、かたちへと転換させ、様々な作品を生み出していきます。

見る側は、時にはそれをストレートに感じ、時には自分のイマジネーションをプラスして、さらに広がりを見せていくこともあります。

それぞれのイマジネーションを楽しみながら、工芸や彫刻など約20点を鑑賞ください。

【主な作品紹介】

【螢の光】 田中太郎(一九一〇～一九二二)

昭和24年 第34回院展日本美術院賞・白寿賞

大きな目に大きな羽：題名は「螢の光」。そう、これはまるで人間と螢が融合したかのような不思議な生き物です。正面を向き両手で明かり(ランプ)を持って座る姿は、まるでエジプト彫刻のようでもあり、品格も漂わせています。



長谷川等伯関連展示情報②

●「陳希夷睡図」

展示期間 12月10日(金)～

平成23年2月13日(日)

描かれた人物は、中国五代宋時代初期に武当山に隠遁し仙術を修め、後に太宗より陳希夷の号を賜り、睡眠に関して3年も眠り続けたと伝えられる隠士陳搏です。樹下において脇息に寄りかかり眠る様子はどこことなくユーモラスで、親しみやすい作品です。

左下部に捺された「長谷川」印と共に捺されている「信春」印は、20歳代後半頃から使用している袋形とは異なり、主に狩野派の絵師が使用している鼎形です。この印は、袋形印と等伯印を繋ぐ一時期に使用されたものと考えられています。

淡墨による上部の枝葉には、50歳代制作の水墨画へ繋がる表現が確認されますが、人物の衣文線には狩野派の影響も看取されます。上洛後の一時期狩野派に学んだ可能性を示す作品として、絵画的にも資料的にも貴重です。本作品は「冬の所蔵品展」のテーマ「江戸時代の長谷川派と加賀藩ゆかりの絵師を中心に」で展示します。



「陳希夷睡図」

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	2800円	2800円	2200円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

当館所蔵品貸出情報

(10月1日現在)

① 絵画「愛宕権現図」

長谷川信春(等伯)筆

● 「加越能の美術」展

会場：石川県立美術館

会期：開催中～10月24日

② 彫刻「木彫養老」 関野聖雲作

● 「岡倉天心と日本彫刻会」展

会場：小平市平櫛田中彫刻美術館(東京都)

会期：開催中～10月17日

会場：井原市立田中美術館(岡山県)

会期：10月22日～12月5日

アートホール定期上映会

「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」

毎回午前11時～(上映時間約30分)

10/9(土)

土火への祈り 大樋熨太 大樋長左衛門

12/18(土)

邂逅 人間国宝 隅谷正肇

市民ギャラリー催し物案内

第5回 彩の会&写団のと展

10月9日(土)～11日(月・祝)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第5回目の合同展で、計23人の会員が近作約80点を発表します。特に写真については初めて、ささゆり短歌会とのコラボレーション展示を行います。

主催 彩の会・写団のと

連絡先 彩の会 加地 求

☎0767(52)1613

七尾能面展2010

10月14日(木)～17日(日)

初日は午後1時から

最終日は午後4時まで

日本の伝統芸能「能」を支える能面は幽玄の美を今に伝えて大変魅力的です。この美しさに魅せられた11人が今年もまた心を込めて制作した女面、男面、鬼神面等の能面約60面を展示します。同時に能面の解説や能面を着ける体験コーナーもあります。どうぞ能面を身近に観賞してください。

主催 面匠会・石川面打同好会

連絡先 森多雪山

☎0767(22)1207

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

10月20日(水)～24日(日)

初日は12時30分から

最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひ鑑賞ください。10月24日10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 助エム・オー・エー美術・文化財団

連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会

☎0767(53)3914

長谷川等伯没後400年記念 平成22年度 七尾市美術展覧会

10月31日(日)～11月3日(水・祝)

最終日は午後4時まで

一般部門「日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真」の6部門、ジュニア部門「絵画・習字」の2部門で公募による美術展です。「伝われ感動」個性あふれる作品をご鑑賞ください。

入賞者の表彰式は、ジュニア部門

11月3日午後1時30分より、一般部門は同日午後2時30分より美術館アートホールにて行われます。

主催 七尾美術作家協会(会長・吉田隆)

連絡先 橋本義則

☎0767(53)3011

第67回 北國写真展七尾展

12月10日(金)～12日(日)

最終日は午後4時30分まで

あの日、この日、あんなこと、こんなこと、少年のように旺盛な好奇心で夢中で走り廻ったり、止まったり、行ったり、来たり、泣いたり笑ったり、そんなこんなで生まれた一枚の写真。ご覧いただければ幸いです。

主催 北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社

連絡先 宮崎 功

☎0767(57)2845

アートホール催し物案内

七尾中日文化センター開設20周年記念文化祭 「芸能発表会」

10月2日(土) 開演 午後1時30分

中日文化センターは地域の文化向上に役立つ多彩な講座を開講。25周年記念文化祭「芸能発表会」を開催し、受講生たちの日頃の成果を発表するとともに、文化活動の交流を図ります。

※整理券が必要です。

主催 七尾中日文化センター・北陸中日新聞

連絡先 七尾中日文化センター

☎0767(53)7511

和倉フロイデ15周年 ガーラコンサート

10月23日(土) 開演 午後2時

和倉地区公民館活動として歌声の聞こえる心豊かな町づくりを目指して結成され、はや15年が経ちました。地元

和倉児童クラブ、香島中PTA合唱団とコール沙羅さんを迎え、感謝を込めて歌います。

主催・連絡先 七尾市和倉公民館

☎0767(62)2084

映画&ミニ講演会

10月31日(日) 開演 午後6時30分

ドキュメンタリー映画「107+1 天国はつくるもの 多くのヒーローはすぐそばにいた!!」の上映と、てんつくマンによる講演会「動けば変わる」を開催します。「夢はあきらめない」「自分が動けば変わる」というメッセージ、そして感動が伝わってきます。是非ご覧ください。

主催 NANA O 夢実現プロジェクト

連絡先 橋本真里子

☎0767(66)0013

doice ピアノコンサート

11月7日(日) 開演 午後3時

小学生から大人までの年に一度のピアノ発表会です。恒例となりましたファミリーアウンサーの平見夕紀さんの読み聞かせもあります。どなたでもご来場ください。

主催 ピアノグループ doice

連絡先 井藤真理

☎0767(58)1355

第39回 石川県図工・美術教育研究大会 七尾大会

11月19日(金) 開演 午後2時50分

御祇中学校での公開授業(午後1時25分～)終了後、全体会記念講演として宇治橋祐之氏(NHK制作局第一制作センター)青少年・教育番組専任ディレクターを講師に迎え、「映像で表現するということ」という演題でお話をさせていただきます。どうぞご来場ください。

主催 石川県工・美術教育研究会
七尾市学校教育研究会工・美術部会
七尾東部中学校 出崎哲弥
☎0767(58)0812

**中條久美子・酒谷広重
門下生ピアノ発表会** **入場 無料**
11月21日(日) 開演 午前10時
午後1時30分

練習の成果を発表する場として、毎年開催しています。今年はマリンパ奏者の竹宮純子さんをお迎えしてのゲスト演奏も予定しています。どうぞお気軽にご来場ください。

主催 中條久美子・酒谷広重門下生
連絡先 中條久美子
☎0767(22)1412

**リトルウイング
ピアノ・エレクトーン発表会** **入場 無料**
12月5日(日) 開演 午後1時30分

日頃の練習の成果の発表の場として、2年に1度開催しており、幼児から大人までの生徒たちが、お気に入りの1曲を演奏します。

どなたでもお気軽にご来場ください。
主催 前田ゆかり・中口幸月
連絡先 前田ゆかり
☎0767(52)9943

小丸山保育園 ちびっこ発表会 **入場 無料**
12月11日(土) 開演 午前9時30分

0歳児クラスから、5歳児クラスまでの子どもたちが、歌、合奏、お遊戯、劇遊び、表現遊び等の発表を行います。子どもたちの元気いっぱい発表する姿を、是非見に来てください。

主催・連絡先 小丸山保育園
☎0767(53)3700

ひまわり保育園 おたのしみ会 **入場 無料**
12月19日(日) 開演 午前9時30分

2歳児から年長児による遊戯や歌、和太鼓演奏等の発表を行います。子どもたちの一年の成長をご覧いただきたいと思ひます。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。
主催・連絡先 ひまわり保育園
☎0767(57)2800

大谷済美幼稚園 発表会 **入場 無料**
12月25日(土) 開演 午前9時30分

みんなで一緒に創りあげる発表会で一人ひとりが身体いっぱいを使って表現する歌やお遊戯を通して、園児それぞれ一年間の成長を感じてください。

主催・連絡先 大谷済美幼稚園
☎0767(52)0526

**第10回 例音本サロンコンサート協会演奏
「ウイーン」の森の物語** **会員 限定**
12月26日(日) 開演 午後1時

日本サロコンコンサート協会による笑いと感動いっぱいコンサートです。音楽の森ウイーンをテーマに音楽の様々な魅力に迫ります。親子一緒に笑い・驚き・リラククス・感動のひとつを味わってみませんか？

※当日ご入会の方も入場できます。
主催・連絡先 七尾市子ども劇場
☎0767(52)0821

※火・木 午前10時〜午後3時のみ



ボランティアの部屋へようこそ！ Vol.6

7/26(月)、当館監視ボランティアさん19名と職員4名で研修旅行に行ってきました。

夏の日の小さな旅

山下富美子(監視ボランティア)

先般、金沢城公園と県立美術館をメイン見学先とするボランティア研修旅行に参加した。炎天下の見学を覚悟しての金沢城公園であったが、「まいどさん」の巧みな話術による場内ルートの案内は、木漏れ日の中で心地よい風と木の香に包まれ、新たな歴史と散歩道を発見する楽しい旅となった。

また、県立美術館では、嶋崎館長さんの解説のもと、「九谷名品展」の鑑賞をした。特に、「国宝の雉香炉」寄贈の際の裏話等、普段なかなか聞くことのできない話を伺いながら、名品が背負っている重い歴史と、本物を見ることにより培われる心の豊かさを実感し、改めて日本文化の偉大さを再認識した一日であった。



金沢城公園にて

「土門拳の昭和」展 フォト俳句ワークショップ報告!

去る8月8日に小中学生対象の、9月5日には高校生以上対象の、デジカメフォト俳句ワークショップが開催されました。当日は何れも猛暑でしたが、みんな真剣な眼差しでシャッターをきっていました。

さて、当日は講師・橋本義則先生(七尾美術作家協会会員)の案内で展覧会を鑑賞後、近隣の「山の寺院院群」を訪れ、先生の指導を受けながら風物を撮影しました。午後からは、撮影した写真をみんなで見ながら最高の「夏の思い出」を選び、俳句を作成しました。大人の部では、講師・八崎秀峰先生(七尾市俳文学協会会長)のお話を聞きながら、撮影時の想いなどを俳句に託し、写真に添えて美術館エントランスに展示しました。

猛暑の中、長時間ご指導くださいました両先生、ご協力いただきました写真「のと」会員の方々、鵬学園高等学校ボランティアクラブの皆さんに、この場を借りてお礼申し上げます。





これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

「春の所蔵品展」

～新収蔵品を中心に～／～いきものの表現～
平成 23 年 2 月 26 日 (土) ～4 月 17 日 (日)

第1、第2展示室では、2つのテーマで所蔵品を中心に展示予定です。

「新収蔵品を中心に」

平成 21、22 年度に新たに当館所蔵品となった作品を中心に紹介します。当館の作品収集はご寄贈によるところが大きく、平成 21、22 年度には絵画・彫刻・工芸・写真など 17 点の作品をご寄贈いただきました (10 月 1 日現在)。これらの作品をいち早く公開します。



「仔犬」吉田雪山

「いきものの表現」

作家はモデルへの愛情や、生命力、躍動感、または自然に対する畏敬の念などを、モデルを通して表現しています。絵画・彫刻・工芸・写真作品で紹介予定です。

●収蔵庫及びアートホール楽屋増築に関するお知らせ●

当館では、収蔵美術作品の増加による収納スペースの確保及びアートホール出演者の控室等を目的に、収蔵庫及びアートホール楽屋棟を増築することとなり、同増築工事を本年度中に着工いたします。工事期間中においても、展覧会はスケジュールどおり開催する予定ですが、工事の日程・内容によっては臨時に休館となる場合もありますので、12 月以降の開館状況につきましては事前にお問い合わせいただくか当館ホームページでご確認ください。

また、アートホールは平成 23 年 1 月より楽屋増築工事終了までの期間、貸し館のご利用が出来ませんので、ご了承ください。

ご来館くださるお客様をはじめ近隣の皆様には、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。



割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号
……JR七尾駅前「ミナ.クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバスぐるっと7
……JR七尾駅前5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

休館日のお知らせ

10月～12月

◆10月 1,4,12,18,25～30

◆11月 4,5

◆12月 6～9,13,20,24

◆年末年始 12/27～1/3

◎次号・第64号(冬号)は1月1日発行予定です。